

京大 i P S 研・山中所長、マウス管理問題で陳謝

2014年3月1日11時45分



遺伝子組み換えマウスの管理について陳謝する京都大 i P S 細胞研究所の山中伸弥所長（右）＝京都市左京区の同研究所

京都大 [i P S 細胞研究所](#)（京都市）で[遺伝子組み換え](#)マウスが繰り返し想定外の洗浄室から見つかっていた問題で、[山中伸弥](#)所長は1日、同研究所で記者会見し、「ご心配、ご迷惑をおかけしたことを深くおわびします」と陳謝した。

- [遺伝子組み換えマウス、ずさん管理 京大 i P S 研](#)

同研究所では2011～13年に計14回、実験用マウスが過って2階の飼育室から運び出され、実験計画では想定されていない1階の洗浄室で発見された。生態系に悪影響を与えかねない生きた組み換えマウスが少なくとも5匹含まれていた。山中所長は「生きた組み換えマウスが洗浄室で見つかることはあってはならない」と述べた。

[文部科学省](#)は昨年12月、京大に口頭で嚴重注意した。

www.asahi.com/articles/ASG313FWHG31PTIL007.html